

# 台湾の学校教育における新住民語教育の実際

谷口龍子(東京外国語大学)

## 1. はじめに

本発表は、台湾における新住民語教育の現状について、現地の研究者への聞き取り、および教育現場の視察と教師や子女への聞き取りをもとに、新住民語教育のしくみ、およびその実践状況について報告し、新住民教育の意義について論じるものである。台湾では、国際結婚や外国人労働者の雇用推進により多様な定住者（ベトナム、インドネシア、タイ、フィリピン、カンボジア、中国大陸、香港、厦門など、以下新住民と呼ぶ）が増加しており、就学している新住民子女の数は29万（7.2%、2021）に上る。それに応じて、2019年度から学校教育において新住民語（ベトナム語、インドネシア語、タイ語、マレー語、カンボジア語、フィリピン語、ビルマ語）教育を開始することになった。従来行われていた旧族群の言語（國語、閩南語、客家語、原住民諸語、以下本土言語）教育（郷土言語教育<sup>1)</sup>）の授業時間に新住民語の学習も選択できるようになったということである。

## 2. 台湾におけるこれまでの言語政策概観

台湾の新住民語教育について論じる前に、それまでの複雑な言語教育政策についてふまえておく。本章では主に菅野(2009)及び谷口(2013)を援用しつつ戦後の言語教育政策を概観する<sup>2)</sup>。菅野(2009:224)は、「50年間の日本植民地統治を経て、第二次世界大戦の終結とともに中華民国政府の統治下に入った台湾では、かつての「国語」が禁止され、新たな「國語」（北京官話に基づく標準中国語）が推進されていったが、国策としての国語推進政策が軌道に乗り、その普及が広く確認されていくようになると、民主化の希求と共に言語政策の再検討を求める声が強まっていった。」と述べている。このような言語政策への従来の反発や族群の母語消失への危機感から、2001年秋から郷土言語

<sup>1)</sup> 「郷土言語教育」および「本土言語」という名称の由来については、菅野(2009)を参照されたい。

<sup>2)</sup> 陳美如(1998)は、戦後台湾の言語政策を以下の三期に分けている。Ⅰ期：日本語を排除し、国語教育を推進する時期(1945~1969)Ⅱ期：国家意識に従い、国語推進を貫徹させる時期(1970~1986)Ⅲ期：多言語多文化への開放期(1987以降)。

教育という科目として学校教育において正式に母語教育が開始されるようになった。これらの母語教育の実践には当然のことながら、台湾のアイデンティティを「中国」ではなく「本土化」つまり「台湾」に求めることを示すことに他ならない。

### 3. ‘新台湾之子’「新台湾の子」の増加

台湾アイデンティティ、すなわちローカリゼーションとは別に新たに浮上してきた母語教育の課題が東南アジアや中国大陸出身者を片親に持つ子女の存在である。国際結婚、外国人労働者の雇用による多様な定住者（東南アジア、中国大陸など）の増加により、台湾在住の国籍別配偶者数（人）は、中国大陸 308,875 香港澳門 12,863, ベトナム 87,918, インドネシア 27,755, タイ 8,447, フィリピン 7,543, カンボジア 4,282, 日本 3,900（出所：台湾内政部入出國及移民署全球資訊網 2013.3 \*日本のみ 2012 資料）「新台湾の子」は 46,411 人(2004)から 103,600 人(2007)に増加し、原住民児童の数を上回る。林欣怡氏は、東南アジアにルーツを持つ台湾在住の配偶者たちが自分の子供たちに母語を教えたいと望む声が上がったことから新住民語教育が開始されたと述べている。

### 4. 新住民語教育の実践

筆者は、2023/3/12~3/15 および 2023/10/25~10/29 の計 2 回、台湾における新住民語教育実践の研究者に対する聞き取り調査、台湾台中市における新住民語教育の見学および文献資料調査を行った。小学校一年次から週 1 コマ(40 分)、本土語文/臺灣手語（手話）/新住民語文選修課程（選択科目）58 種類の言語と方言の中から学びたい言語を選ぶことができる。言語の選択とクラス分けは以下の手順で進める。本土言語・台湾手話・新住民語の選択調査票の中から希望する言語を保護者が記入する。その後、希望する言語の能力がどの程度あるのか児童の言語能力のレベルチェックを行ったのちにレベル別にクラス分けが行われる。学校側は、たとえ一人だけの希望者であっても児童が選んだ言語の授業を開講することが原則となっている。選択された言語は必ずしも両親の母語とは限らず、将来の職種の選択肢を増やすために東南アジアの言語を選択させる父母も少なくないという。台湾は東南アジア地域での経済、貿易面でのつながりが今後ますます重視されていることから、将来の貿易や起業に向けた実益のために東南アジアの言語を学ぶことを子供たちに勧める台湾の家庭も少なくない。

台湾の新住民語教育に関して特筆すべき点として教師養成の充実がある。新住民の言語を教える教員は「教學支援人員」と呼ばれ、兼任教員の身分であり、複数の教育現場を掛け持ちしている。「教學支援人員」の多くは、新住民の子女の父母である。候補者は公募により選抜されるが、教師教育のプログラムが三段階（資格班：語学教育の知識や経験がない者、進階班：語学教育の知識や経験がある者、回流班：ブラッシュアップ教育）あり、学歴、言語教育の経験や資質に応じて各班に振り分けられ、教職課程カリキュラムを有する大学で80時間から200時間の教育実践のトレーニングが行われ、修了者だけが、現場の教育実践にあたることができる。カリキュラムには現地における質の高い英語教育のノウハウ、特に年少者教育のスキルが活かされ、確実な実践のもとに教師養成が行われている。教育現場には児童が興味を持ちそうなアニメや漫画、イラストなどの教材がふんだんに用意されている。テキストに加えて、教室に用意されたバーチャルリアリティの映像教材やゲーム式に学ぶ文法解説のスライドを使い、質の高いアクティビティ重視の授業を実践している。ベトナム語を学んでいる児童にその理由を聞いたところ、ベトナムにいる祖母と話がしたいからだということであった。新住民語教育に対する父母や児童たちの満足度は高いという報告である。

菅野(2009:242)が述べているように、台湾における言語教育政策は、脱中国化が複雑に絡んでいることの証左として本土化すなわちローカリゼーションとして2019年に「国家言語発展法」の施行がある。その一方で国際化、グローバル化に向けた新住民語教育の推進というもう一つの文脈がある。

## 5. 多言語多文化共生社会に向けて

どこの国においても移民に対する言語教育としてまずは現地で使われている言語の教育が優先されるという現状があり日本も例外ではない。しかしながら、現地で使われている言語教育を優先させるあまり、言語ホストと言語ゲストの区別が顕在化し、言語ヒエラルキーの固定化が生じている。このようなリスクは社会における言語や文化の違いによる分断の要因となることもある。特に言語ゲストとして常に日本語を学ぶことを余儀なくされる外国にルーツを持つ児童たちにとってその抑圧やストレスは尋常ではないであろう。与える側と受ける側という一方的な方向性を時には逆転させる必要がある。台湾における新住民語教育の実践は、現地における喫緊の少子化対策や国際化にむけた実益と

いう目的が根底にあるのだが、結果として計らずも言語間のヒエラルキーを超えて共生社会に向けた双方の歩み寄りが実現されているということは注目に値する。新住民語教育の現場で台湾や新住民の子どもたちが生き生きと母語を学んでいる姿には真の共生社会への展望が垣間見られる。言語ゲストとして日本語を受け入れ学ぶという受け身の立場だけでなく、日本においても母語や自文化の発信の機会を日本社会に送り、日本社会を形成する人々も多言語多文化を理解しようとすることではじめて平等な関係性を持ち真の共生社会を目指すことができると考える。言語や文化によるヒエラルキーや差別なく言語を共に学ぶことで多言語多文化共生の意識を育むための方策の1つとして台湾における新住民語教育から学ぶことは多いと考える。

**謝辞** 本稿の執筆にあたり、林欣怡氏（國立臺中教育大學）、江佩珊氏（國立南投高級商業職業学校）および林俊成氏（東京外国語大学）から多大な協力を頂きました。ここに感謝申し上げます。

**付記** 本研究は科学研究費基盤研究B（21H03701）の助成を受けたものである。

## 参考文献

陳美如（1998）. 臺灣語言教育政治之回顧與展望 高雄復文圖書出版社

中華民國成人及終身教育學會（2023）. 「申請新住民發展基金 112 年度補助研究計劃檢核表及計劃書」

中華民國成人及終身教育學會

黃富順（2019）. 新住民發展基金補助研究報告「新住民母語文化傳承與推廣之研究」

内政部入出國及移民署（2014）. 「全國新住民火炬計劃成效評估研究期末報告」

菅野敦志（2009）. 台湾における「本土化」と言語政策-単一言語主義から郷土言語教育へ- アジア太平洋研究, No. 12 , 223-249.

谷口龍子（2005）. 台湾における「郷土言語」教育とその問題-「國民中小學校九年一貫課程」（2001）を中心に- ICU 比較文化, 37, 65-86.

谷口龍子（2013）. 日本語排除から日本語受け入れへ-戦後台湾における言語政策, 社会的環境の変容と継承日本語との関わり- 東京外国語大学論集, 86, 159-173.